

# おれんじニュース

No327

2017年6月

かこの横這(大崩山坊主尾根)

## CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
オレンジ物語	4
八方ヶ岳	5
鳴鼓岳・烏帽子岳	6
女岳・八幡岳	7
由布岳	8
南島原オルレ	9
屋久島	10
おれんじカレンダー	12

2017年	6月	7月	時間	場所
専門部会	13日(火)	11日(火)	13:30~15:30	西諫早
全体集会	28日(水)	26日(水)	19:00~21:00	公民館



# 6月



部	山行部	自然保護部	ひまわり山行部	技術研修部
月/日(曜)	6/3(土)	6/17(土)	6/23(金)	6/24(土)
山名(行事)	津波戸山(大分)	雄岳/雌岳(福岡)	作礼山(佐賀)	獵師山/合頭山(大分)
地 図	豊後高田、立石	八女	相知、多久	湯坪
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10	諫早駅裏 7:20 西諫早駅 7:30	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	体力 1 / 技術 2	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1
帰着時間	19:00	18:00	16:00	19:00
歩行時間	5.0h	4.0h	3.5h	4.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	ジャンボタクシー	マイクロバス
宿泊施設	無し	無し	無し	無し
温 泉	無し	有り	有り	有り
参加費	5,000 円	4,000 円	4,000 円	5,000 円
申込期限	5/27	6/13	6/15	6/16
集 約	田村	坂本	林孝子	山下ちず子
備 考	パノラマ展望よしスリル満点	「磐井の乱」で有名な土地	じゅんさいと見帰りの滝のアジサイ	オオヤマレンゲが見ごろ

# 7月

部	技術研修部	山行部	自然保護部	ひまわり山行部
月/日(曜)	7/2(日)	7/9(日)	7/15(土)	7/28(金)
山名(行事)	郡岳～経ヶ岳	黒髪山周回	五家原～多良岳	修多良の森散策
地 図	多良岳	有田	多良岳	多良岳
集合場所	西諫早駅 7:00	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10	西諫早駅 8:00	西諫早駅 8:00 諫早駅裏 8:10
難 易 度	体力 2 / 技術 1	体力 2 / 技術 1	体力 2 / 技術 1	体力 1 / 技術 1
帰着時間	16:00	18:00	15:00	15:00
歩行時間	7.0h	4.5h	4.0h	3.0h
交通手段	マイカー	マイクロバス	マイカー	マイカー
宿泊施設	無し	無し	無し	無し
温 泉	無し	有り	無し	無し
参加費	500 円	3,500 円	500 円	1,000 円
申込期限	6/29	7/2	7/8	7/21
集 約	山下ちず子	田村	坂本	林孝子
備 考	夏山、アルプス訓練	岩峰と絶景	ソーメン流しがあります	ひめしゃら、きつねのかみそり

## 事務局より

オレンジホームページに  を設けました




山行予定

様式 A

報告書

オレンジハイキングクラブ、自然保護部

山域	オルレ南島原	実施日	5月14日(日)	責任者(CL)	中里				
山名		天候	晴れ	計画者(報告者)	山口、中野				
行程	(往) 諫早駅前バスターミナル7:40~口之津港8:14/9:30~次の野向の一本松10:45~田尻海岸公園11:20~瀬崎岬灯台11:45/12:20(昼食)~アコウ群落12:40~南六白13:20~玄武岩の海岸入口13:25~口之津灯台13:40~口之津民族歴史資料館14:00~口之津港14:30 (復) 口之津港14:55~諫早バスターミナル16:30								
*出来るだけエスケープルートも計画しておく(報告書では実績時刻に修正して提出の事)									
No.	氏名	班	役割	乗車	No.	氏名	班	役割	乗車
1.	中村 かずえ				9.	中野 美津子		PSL	
2.	柿森 紀和子				10.	山口 イツ子		PL	
3.	佐原 満子				11.	下釜 ミツ子		会計	
4.	兵庫 芳隆				12.	川原 慶紀			

 を開き、パスワードを入力。開いた検索画面に山名を入力すると、その山名に関する過去の登山計画書や報告書のみ絞り込み表示されます。同じ山の計画をする時参考にご利用下さい。

## 県連便り

### ・県連盟52期役員体制

顧問：三浦 博史  
 会長：牟田 勇  
 副会長：川原 一之  
 理事長：  
 副理事長：西川 覚史  
 事務局長：坂上 隆英  
 財政会計担当：泉 照美  
 記録担当：持ち回り  
 県連便り担当：坂上 隆英、山之口妙子、疋田 茂

組織部：西川 覚史、疋田 茂  
 登山学校担当：西川 覚史  
 自然保護部：坂井あけみ  
 遭難対策部：疋田 茂、坂上 隆英  
 女性担当：山之口妙子、富永 陽子  
 平和担当：松岡 正樹(オレンジHC)  
 九プロ担当：西川 覚史、山之口妙子  
 会計監査：浦田むつみ

### ・クリーンハイクの一取り組みについて

6月4日を中心に各会重複しない山域を計画する。

## 本の紹介

長谷川恒男は、アルプス三大北壁冬期単独登攀を成し遂げ、アコンカグア南壁、チョモランマと足跡を刻んで、ウルタルII峰にて雪崩に遭遇し、43年の生涯を終えた。単独登攀という手法を選び、生涯、<sup>ぎょうこう</sup>僥倖でしかない道を一途に求めた希有のクライマーの物語である。





# オレンジ物語



## 視野をひろくもって

結成後、宮島さんが県連登山学校に参加した事にはじまり、積極的にどん欲に登山技術や登山理論を吸収していきました。そのころから夏のアルプスには、ほぼ毎年行っています。県連冬山合宿も 1981 年から参加しています。



82 年、宮島さんが県連理事になり、冒険学校長として活躍。84 年には川原さんも県連理事へ、翌年には理事長に就任しています。

オレンジは会員わずか 10 人前後の会でありながら、県連の仕事に誇りを持っていました。

自分達の小さい殻に閉じこもらず、活動を大きく広げようという意気込みが会を包んでいました。

83 年、県連創立 20 周年ネパール遠征の偵察隊に川原さんが参加。ランタン谷トレッキングを楽しんできました。

翌年には宮島さんもネパールトレッキングに出発。珍しいもの好き、お祭り好きの気風がよく出ています。

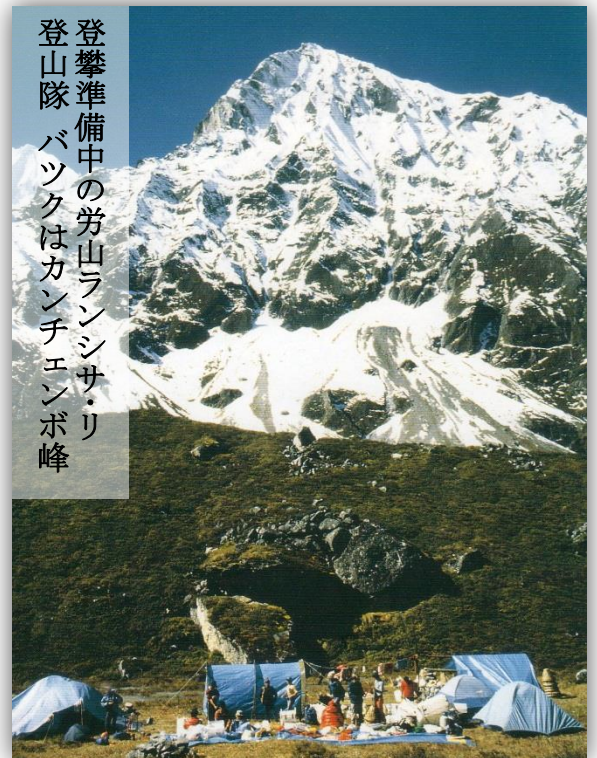
1985 年の県連創立 20 周年ランシサ・リ遠征に川原さんが参加し 6,100m まで登りました。

宮島さんも BC トレッキングで支援しました。

翌 86 年、川原さんはシルクロードへも足を延ばしています。

同年、琵琶湖畔で開かれた全国連盟中央登山学校にも柿森さん(当時は他会)と一緒に参加しています。

この登山学校で二人は全国の先進的な運動と技術におどろき、多くの仲間と出会いました。



1982 年 10 月 奥穂高岳の頂上

1982 年 5 月 八ヶ岳にて



# やほうがだけ 4/16 八方ヶ岳



坂口、大久保、高森、松岡、田中、山下ち、中野、松田、川原、工藤、乾、白石

## ちょっと感想

1. 溪谷のせせらぎと森林浴、山頂では、360度の大パノラマ、さらにカニのハサミ岩のスリル、「てんこ盛り」の山行でした。
2. カニのハサミ岩の上りより急峻な下りに手こずりながらも、オレンジサーカスを楽しんだ。
3. カニのハサミ岩の下りは、急な地獄道。

## 登山概要

穴川分岐まで溪流沿いを緩やかに登る。2～3度徒渉あるも渡り易い。その後急登が続く、切れ落ちた狭い道や梯子、岩場を登る。

班蛇分岐後は比較的歩きやすい。山頂は晴天で360度の視界。下りはカニのハサミ岩へ、アップダウンを繰り返し、ジグザグの長い急坂を下る。カニのハサミ岩分岐から30分。

鞍部にザックをデポして危なげな梯子とロープを使い20mほどの岩壁をよじ登る。頂は狭く交代で立ち、スリル満点だった。下りはガレ場の急坂が続く、浮石も多く滑り易かった。



左右は絶壁。こわいよ・・・。



カニのハサミ岩



山肌の山桜





4/21

## 行程

諫早駅 8:20-西諫早駅 8:24-8:57 道ノ尾駅~道ノ尾  
9:10-9:17 上床 9:25-9:55 滑石峠~11:00 烏帽子岳  
~11:25 鳴鼓岳~11:50 芝生広場(昼食) 12:35~13:00  
第一展望広場~13:25 鳴鼓岳自然公園駐車場  
13:40~14:25 左底

(ゆっくり組)

(道ノ尾迄 JR) 道ノ尾9:10-公園駐車場 9:50~  
10:50 第一展望広場~11:00 芝生広場 左底 14:39-  
14:48 道の尾 / 道ノ尾駅 15:20-15:56 諫早駅



兵庫、吉川、下釜、佐藤、中村  
高森、佐原、小山、大寶、林、

芝生広場



烏帽子岳

## 登山概要

滑石の上床から、烏帽子岳、鳴鼓岳を経て時津の左底  
まで縦走する。

ひまわり山行部としては長丁場である。距離が長くてややハード  
なため太鼓岳自然公園駐車場からコースの中間の芝生広場まで往復す  
る。ゆっくり組を設けて芝生公園で合流する事にした。上床バス停か  
ら滑石トンネルの手前で右に入り、車道の上の橋を渡り小屋脇の小道  
を歩いて旧三重街道を進む。トンネルが出来てから、廃通となり荒れ  
ている切通しを過ぎると赤いテープの目印があり小道となり。急登で  
ある。赤いテープを頼りに進む。ロープや岩のやせ尾根もあり烏帽子  
岳へ。下りも長いロープがあるが、それを過ぎると後は起伏の少ない  
遊歩道となり歩きやすい。ゆっくり組は道ノ尾駅から車で鳴鼓岳自然  
公園まで行き、第一展望広場までより芝生広場へは早く着いた。烏帽  
子岳鳴鼓岳は展望が利かないが芝生広場、第一展望広場自然公園駐車  
場は見晴らしも良い。



鳴鼓岳



## ちょっと感想

\*毎回ひまわり山行でも思うが、『低山なれど侮るなかれ』急登が続き、きつかった。

頂上広場は貸切で気持ち良く、大村湾を見渡せて美しい風景を満喫しました。

\*初めてのSRを仰せつかって無事歩き天気良く快適でした。

\*烏帽子岳は急登、岩はロープもあり 楽しかったです。



## 4/23 女山・八幡岳

**参加者** 中里、川原、工藤、坂本、松田、中村

**行程** 7:00 諫早駅裏～7:10 西諫早駅～鹿島・嬉野・多久～8:50 船山キャンプ場 9:10～女山頂上～11:15 池高原キャンプ場昼食 11:45～12:35 八幡岳展望台～12:50 八幡岳頂上 13:30 池高原キャンプ場～多久・嬉野・鹿島～15:45 諫早駅裏～16:00 西諫早駅

**概要** 当日は快晴で雲一つなく、新緑の山々と田園風景を眺めながら 6 人でのバスの旅となった。女山は最初から急登だったが植林帯を 50 分程登ると眺望のいい山についた。



女山頂上

よもぎ餅を食す

今日の収穫わらび！



ヒトリシズカ



ここで喉を潤し、差し入れのよもぎ餅を食した。女山から八幡岳への歩道は歩きやすく、登山者もなく、ゆっくりと杉林を進んだ。静寂な林のなか聞こえてくるのは、数種類の小鳥の鳴き声と、我々のたわいのない話し声だけであった。

約 1 時間で植林帯を抜けると、正面に八幡岳と裾野に広がる美しい池高原キャンプ場に到着、昼食後、ほぼ一直線の自然歩道を何度か車道を横切って登り、頂上手前で鳥カゴを持ったオジサンに出会い、珍しい相思鳥を觀賞して 12:35 に八幡岳展望台に着いた。ここの眺望も素晴らしく、女山、天山、作礼山、遠くに雲仙岳などが一望できた。15 分で八幡岳頂上へ、記念写真をとり下山、40 分程で池高原キャンプ駐車場に到着し諫早への帰途についた。

### ちょっと感想

- \*五月晴れの登山日和、参加者 6 名でヤマフジ、ツツジ、タンポポ、スマレを愛でながらの自然歩道歩き、よもぎ餅と相思鳥が思いもよらぬ収穫でした。
- \*最初は急登できつかったが、一時間ほどで安定した。天気も良く、少人数のせいか盛り上がった、また登ぼってみたい山だった。
- \*女山・八幡岳は西九州で一番の景色の良い所、池高原キャンプ場は池と草原があり、ここでキャンプをしたらいいですね～

### 相思鳥…特定外来生物です。



オスとメスを離すと  
お互い鳴きかわす♥  
フンは美肌効果あり  
勇気があれば試して  
みても OK . . . .



池高原と八幡岳



## 行程

6:35 諫早 IC—9:10 湯布院 IC—9:30 / 9:35 正面登山口  
—10:30 合野越—11:40 マタエ—12:20 西峰—お鉢  
—13:20 東峰(昼食)—13:40 マタエ—13:50 下山  
—16:00 正面登山口—16:20(サクラソウ群生地)  
—17:00 湯布院 IC—諫早着 19:30

林和、松岡、川原、高森、山下ち、大久保、鎗水、乾、吉川、松田、中野、小熊、山下文、中須賀、下釜、工藤、國分、(一般:松園、米田、佐藤利)

## 登山概要

正面登山口より登り、西峰～東峰へお鉢巡りをした。西峰への岩場は結構難しく危険。またお鉢鞍部にはナイフリッジの岩場があり、気が抜けなかったが、全員無事一周成功。



由布岳東峰



西峰 かにの横這



西峰 かにの縦這

# 由布岳

2017/5/7



西峰取付きの難所



岩をブリッジでまたぐ

## ちょっと感想

1. 寝不足気味の山行、障子岩の傾斜は思ったより少なかったが、久しぶりに脚がふるえた。
2. 初めての由布岳であったが、景色が良く、登りがいいがあった。
3. 念願のお鉢巡りができました！怖かった～。崖崩れの箇所もコワ～！
4. 由布岳 3 回目、お鉢巡りが出来たのが良かった。花にも沢山会えた。
5. お鉢回りの岩歩きとサクラソウにエヒメアヤメの花々とのコントラストが楽しめました。
6. とにかく必死でしたが、終わってみると満足感一杯。A班(エリートからあほう班)、B班(ベストからぼんくら班)、C班(クレバーからクレージー班)へと、変な班名を付けあつてかしましいこと。
7. ハードでしたが、一人では体験できなかった事を経験豊かな先輩がいればこそできました。自分の隠れた力を引き出せたうれしい一日でした。



エヒメアヤメ



秀麗な由布岳



サクラソウ





# オルレ南島原



柿森、中村、佐原、高森、兵庫、野中、  
中須賀、中里、川原、山口、下釜、中野



**往路** 諫早駅前ターミナル 7:40~  
口之津港 9:14/9:30~幻の野向の  
一本松 10:45~田尻海岸公園 11:20  
瀬詰崎灯台 11:45/12:20 (昼食)~  
アコウ群落 12:40~南大泊 13:20~  
玄武岩の海岸入口 13:25~口之津灯台  
13:40~口之津民族歴史資料館 14:00  
~口之津港 14:30

**復路** 口之津港 14:55~諫早駅前ターミナル 16:30

## オルレって？

韓国済州島から始まったもので「通りから家に通じる狭い路地」という意味です。オルレの魅力は海岸線や山などの自然、民家の路地などを身近に感じ自分なりにゆっくり楽しみながら歩くところです。九州には17のオルレコースがあります。そして色々な場所に右のような目印があります。

## 登山概要

島鉄フリー切符 1000 円を利用した。オルレの目印にそってコース通りに歩く。赤土の畑を越え雑木林を抜け、海岸線に出る。平坦な道を歩くだけではなく、起伏に富んでもいるし、海岸では玄武岩を歩くなど変化があった。畑地の風景や海の風景を満喫できるコースであった。

## ちょっと感想

\*オルレ、オルレ、オルレ、今日の天気はハレルヤー。赤土の畑を越え、雑木林や森林を抜け、海岸に至り、早崎の渦潮は段をつけて激しく流れていました。天気が良くてよかったね。オルレ!

\*口之津にこんな自然いっぱいのオルレコースが設定されているなんて驚きでした。道標など参考になりました。

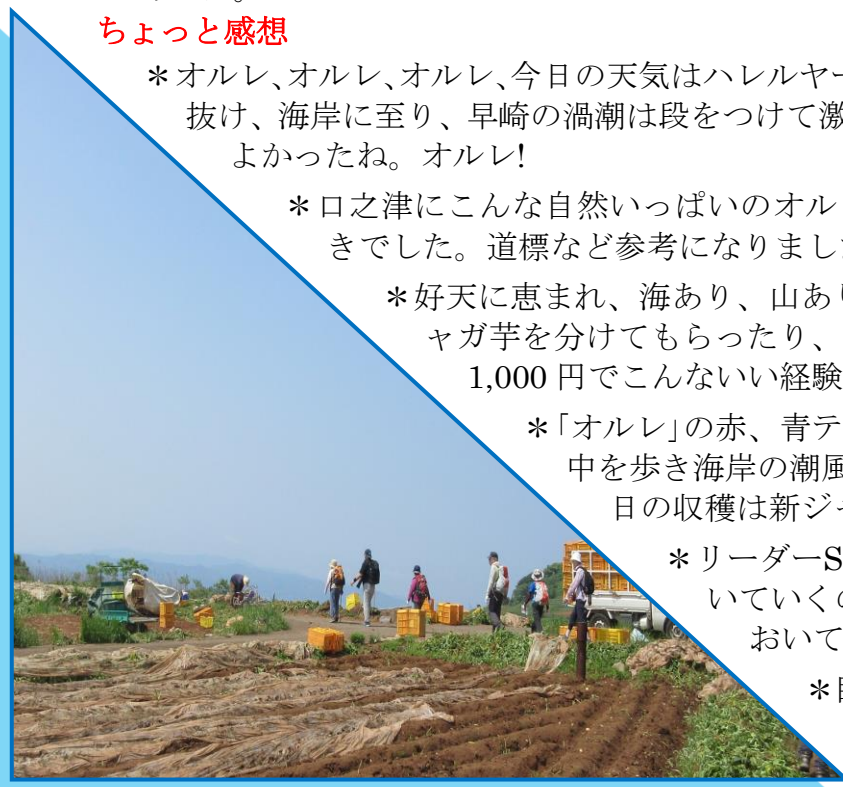
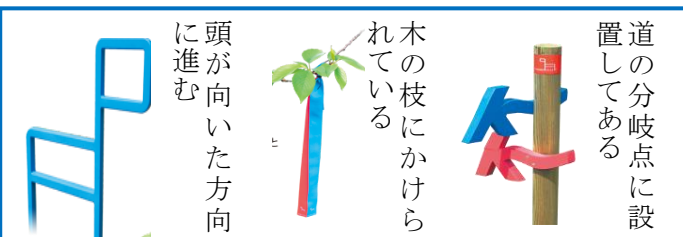
\*好天に恵まれ、海あり、山ありの 10.5 km。途中で掘りたてのジャガ芋を分けてもらったり、ピワを食したり楽しい一日でした。

1,000 円でこんないい経験ができるなんて有難いことです。

\*「オルレ」の赤、青テープにひかれレタス、ジャガ芋畑の中を歩き海岸の潮風にも吹かれ心地よい一日でした。今日の収穫は新ジャガにピワ、最高!

\*リーダーSさん(92)のしゃかしゃか歩調には付いていくのがやっとなりました。男3人はついにおいてきぼり。Sさんスゴイ!!

\*眺望よし、案内リボンよし、オルレが好きになりました。





10年ぶりの屋久島  
3泊4日(4/23~26)小屋泊山行

# 屋久島

## 宮之浦岳から永田岳

屋久島は10年ぶりの登山だった。縄文杉はもっと前に訪れていたが宮之浦岳に登りたくてオレンジ HC に入会したのだった。前回も前々回も屋久島の山の上は雨だった。今回、1泊目の淀川小屋で満天の星空を見たときは嬉しくて寝付けなかった。

翌朝5時、Iさんをトップに木の根道を歩く。薄っすらと霧がたちこめる花之江河辺りでヘッドランプをしまう。黒味岳への分岐にザックをデポし黒味岳に向かう。巨岩のそそり立つ頂上は薄いガスがかかっていたが、東の間のガスの切れ間に青空と永田岳が垣間見えたときには皆感嘆の声を漏らす。記憶にある岩の割れ目は大したは事なく、ここではなかった気がする。カランコロン岩はどこだったのか？

分岐に戻り、宮之浦岳に向かう。翁岳の山腹を巻き頂上に至る稜線に出たころには日も照りつける。目の前にそそり立つ栗生岳の岩峰を越し、目指す頂上に着いたのは11時前、期待した展望はガスで閉ざされていた。

朝が早かったのでここでランチをしているときに、周りの景色が時々ガスで見え隠れし、笹原の先に巨岩に覆われた白と緑のコントラストが美しい永田岳が忽然と現れたのは感動的であった。暫くするとガスも消え、海まで見下ろせる360度の展望である。若い登山ガイドさんに、遠くの稜線の中に飛び出ている特徴的な山が黒味岳だと教えてもらおう。彼はとても愛想が良く、訛がないので屋久島の人ではない感じがした。

彼の薬指にリングを目ざとく見つけたYさんの観察力は素晴らしい(笑い)。

ここから永田岳はかなり下ってまた登り返さないといけない。焼野三叉路でザックをデポし永田岳へ。ルートが見えている所は大した事ないように見えたが実際歩くと結構な距離がある。必死でIさんの後ついて歩き、頂上直下の大岩を、ロープにすがり登山頂上に立った。山頂からは永田港まで見下ろせて、高度感は島ならではだ。前回、雨に降られてここが中止になった訳が分かった。



苔むす森  
(ものけ姫の森)



ウィルソン株の中から ♡



23日(晴)紀元杉 14:50-16:25 淀川小屋(泊)  
 24日(晴|雨)淀川小屋 4:50-黒味岳-10:35  
 宮之浦岳-永田岳-15:50 新高塚小屋(泊)  
 25日(晴|雨)新高塚小屋 7:30-縄文杉-ウィルソン株-楠川分れ-15:00 白谷小屋(泊)  
 26日(雨)白谷小屋 6:05-白谷雲水狭奉行杉コース  
 -8:05 白谷雲水狭広場



吉川、山下ち、  
大久保、乾

宮之浦岳山頂

## 右ネマチを見る

目的の3峰を達成したので、Iさんは頂上でも大岩を飛び回り、0、Yさんも体の動きは軽かった。高所恐怖症は完璧に治癒していた(めでたしめでたし)。ここからの下りで急に天候が悪化し今回初めての雨にあった。デポしたザックに雨具を置いてきて(大失態)、2,30分冷たい雨に打たれた。新高塚小屋に着いた時は、かなり濡れねずみになった。ここの利用者は淀川小屋からの縦走者が多く、少し顔見知りになった。隣の単独行の方は躰の激しい人で、0さんの睡眠をじゃましたらしい。今日の夜はピークを歩き終えた安心感でIさんが持ってきてくれた泡盛で乾杯をした。雨に濡れても満足だった。3日目の出発はゆっくり7時半、森に朝日が指している。縄文杉と自然観察路経由でウィルソン株へ。

Yさんが、この株の中から見上げるとハートマークが見られる位置取りを見つける。ここでランチを取りトロッコ道に下ったところで、雨が本降りになってきて雨具をつける。

今日の宿、白谷小屋へは、トロッコ道を楠川

分れから辻峠に道をとる。今日唯一の登りである。巨岩の横たわる辻の岩屋を過ぎると直ぐに辻峠につく、登る事一時間。縄文杉で出会った元気な名古屋の軽装3人娘(勿論0さんはハイタッチ)とまた会ったが、この登りには音を上げていた。白谷小屋までの下りは緑一色の苔むす森である。躰の人もまた同宿となった。今日も泡盛で祝杯を上げてYさんのお持たせの柴漬けをつまむ。重いのに最後の日までありがとう。最終日は雨の中、白谷雲水峡広場まで下ると、現地のガイドさんから熱いコーヒーのおもてなしを受け、冷えた体には最高でした。路線バスの運転手さんは饒舌で車窓からの案内はすばらしかった。鹿児島港に着いて4日ぶりの温泉は気持ちよく、無事諫早に着きました。



永田岳山頂・右上永田港



永田岳ロープ場、後方宮之浦岳



# おれんじカレンダー

6月			7月		
1	木		1	土	
2	金		2	日	郡岳～経ヶ岳 技研部
3	土	津波戸山(大分県) 山行部	3	月	
4	日		4	火	
5	月		5	水	水曜登山(8:00 西駅)
6	火		6	木	
7	水	水曜登山(8:00 西駅)	7	金	
8	木		8	土	
9	金		9	日	黒髪山周回(佐賀県) 山行部
10	土		10	月	
11	日		11	火	専門部会(13:30～15:30)
12	月		12	水	水曜登山(8:00 西駅)
13	火	専門部会(13:30～15:30)	13	木	
14	水	水曜登山(8:00 西駅)	14	金	
15	木		15	土	五家原～多良岳クリーンハイク
16	金		16	日	(自然保護部)
17	土	雄岳/雌岳(福岡県) 自然保護部	17	月	
18	日		18	火	
19	月		19	水	水曜登山(8:00 西駅)
20	火		20	木	
21	水	水曜登山(8:00 西駅)	21	金	
22	木		22	土	
23	金	作礼山(佐賀県) ひまわり部	23	日	
24	土	獵師山/合頭山(大分県) 技研部	24	月	
25	日	コンパニオンレスキュー(9:30 西駅)	25	火	
26	月		26	水	水曜登山,全体集会(19:00～21:00)
27	火		27	木	
28	水	水曜登山,全体集会(19:00～21:00)	28	金	修多羅の森 散策 ひまわり部
29	木		29	土	コンパニオンレスキュー(9:30 西駅)
30	金		30	日	
			31	月	

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者 (兼編集委員)	福岡 正廣
編集委員	鎗水律夫、中野美津子、林孝子、林和子、 田中静香、高森陽子、工藤学
発行年月日	2017/5/24
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	<a href="http://orangehikingclub.com">http://orangehikingclub.com</a>

	<p><b>安心! 5年間保証</b></p> <p>・施工後も年に1回の無料点検 ・最大5000万円の損害賠償保証付</p>	<p><b>床下点検・見積無料</b></p> <p>キャンセルされても 料金が発生すること は一切ございません。</p>		<p>シロアリ予防, 駆除・パソコン販売, 修理</p> <p>合同会社 まずは、お気軽にお問い合わせください。 <b>三喜企画 0957-47-5988</b></p>
--	---	---	--	---